

第4回柳瀬川・空堀川流域連絡会(第7期)(全体会)

日 時 平成25年10月7日(月)14時00分～15時53分

場 所 北多摩北部建設事務所2階第1、第2会議室

出席者 都民委員 9名
団体委員 2名
行政委員 7名
事務局等 4名

配布資料 ①次第
②委員名簿(分科会別を含む)
③活動スケジュール(案)
④第6期柳瀬川・空堀川流域連絡会の活動報告
⑤空堀川 秋の清掃活動
⑥川仲間になろう!! 第9回川の日ワークショップ関東大会

議 題 ①開会
②挨拶
③分科会について
(1)分科会の構成員について
(2)活動スケジュールについて
(3)まとめ役の選出について
(4)今後の活動(メインテーマ等)について意見交換
(5)分科会報告
④その他
⑤閉会

【 議事要旨 】

● 全体会

【開会】

(事務局) 皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまより第4回柳瀬川・空堀川流域連絡会を開催いたします。

最初に、配付資料の確認をさせていただきます。(資料確認)

以上がきょうの配付資料でございます。過不足等ございませんでしょうか。

それでは、次第に沿いまして進めさせていただきますと思います。

まず最初に、座長より挨拶をお願いします。

【挨拶】

(座長) 改めまして、皆さん、こんにちは。きょうはお暑い中と言ったらいいですか、かなり陽気がぶり返して暑くなっております。前回、これまた暑い中、現場の視察をしていただきましてありがとうございます。整備が終わったところ、あるいはこれからやるところ、または、これからいろんなテーマを持って意見交換をしていただく場という形で見させていただきました。

きょうは、御案内のとおり、具体的な分科会分け、あるいはその中でどんなテーマで意見交換していただくかというテーマ決めというメニューで用意させていただいております。ことしは始まりが遅くなりまして、具体的な話がきょうからということになるかと思いますが、今後のスケジュールもあらあらですが用意させていただいております。そこら辺を見ていただきまして、分科会でのテーマ決め、あるいは今後の予定も考えていただけたらと思っております。よろしく忌憚ない御意見、御要望、あるいは積極的な御発言をお願いするというところで、私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひしたいと思います。

(事務局) それでは、進行を座長より、よろしくお願ひします。

(座長) それでは、事務局が用意しております次第でございます。まずは、分科会の構成員ということで配付させていただいております。事前に委員からの御希望、御要望等も募った上での分科会の割り振りでございます。では、事務局で願ひしたいと思います。

(事務局) 前回、8月29日、第3回になりますけれども、現場視察の際に皆様にお配りしました意向調査の結果をまとめたのが、1枚目のカラー版の名簿でございます。お1人ずつ御紹介させていただきます。色分けは、下にもありますように、水色が水循環分科会、緑が河川環境分科会となっております。グレーの人もいますけれども、後ほど説明させていただきます。

清瀬市から参ります。まず、水循環分科会で〇〇委員です。一言御挨拶をいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

(都民委員) 清瀬市の〇〇です。この会に参加させてもらって相当古いんですけども、おかげさまで、私どもの身近な合流地点の作業が大体進んで、残り少なくなっているんですが、この間、8月に上流まで、何度か見せていただいていたんですが、いろいろ川をよくしていくのに本当に苦労されているなというのを身にしみて感じました。ひとつよろしくお願ひいたします。

(事務局) 続きまして、同じく水循環の〇〇委員です。

(都民委員) 〇〇と申します。何期か継続させていただいています。どうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局) 続きまして、グレーになっていますけれども、きょう欠席されています〇〇委員です。〇〇委員におきましては保留にということにさせていただきますという御連絡をいただいております。よろしくお願いたします。

続きまして、河川環境の〇〇委員も本日欠席でございます。

続きまして、同じく河川環境の〇〇委員です。

(団体委員) 清瀬市の〇〇でございます。よろしくお願いたします。

(事務局) 同じく河川環境で〇〇委員ですが、本日欠席ということでございます。

続きまして行政委員に入りますけれども、行政委員につきましては、前期と同じ分科会ということで割り振りをさせていただいております。水循環の〇〇委員、河川環境の〇〇委員。なお、〇〇委員につきましては、10月1日付の人事異動で、前任の〇〇委員から〇〇委員に変更になってございます。

続きまして、東村山市に入ります。水循環分科会の〇〇委員。

(都民委員) 〇〇でございます。よろしくお願いたします。空堀川は、私にとっては週何回か緑道を歩くので大変身近に感じているわけでございますけれども、大変残念ながら、私のところはほとんど水が流れている日がない、特に前期も調査の説明がございましたけれども、野行前橋から大沼田橋あたり、私はちょうどその中間あたりに住んでいるわけですが、まずあのあたりの水脈が大変低いという話があったのですが、水がある日がほとんどないというのが現実です。そういうことで、何としても空堀川に水が欲しいなということで、前回に引き続きまして、水循環のほうに参加させていただくことにしました。よろしくお願いたします。

(事務局) 続きまして、同じく水循環で〇〇委員ですけれども、本日欠席との御連絡をいただいております。

同じく水循環で〇〇委員、お願いたします。

(都民委員) 〇〇でございます。この間、上流からずっと見学させていただきましてけれども、やはり東村山が一番水がないなということが一番実感しまして、何とか上流の水をこちらに持ってくる、あるいは東村山で流れ出ているJRの水をもっと下流に流したいという、ちょうど中継的な役割になりますけれども、ぜひ空堀川の活性化を図りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

(事務局) 続きまして、同じく水循環の〇〇委員。

(都民委員) 〇〇でございます。私は前期からの継続でして、前期も水循環の構成でやらせていただきました。今後ともよろしくお願いたします。

(事務局) 続きまして、同じく水循環で〇〇委員ですけれども、本日御欠席との連絡をいただいております。

続きまして、河川環境の〇〇委員。

(都民委員) こんにちは、〇〇です。遅刻をしまして申しわけありません。バケツを持って立っていると言われても、空堀川に水がないのでくめないんじゃないかと思っているんですが。私は河川環境のほうに立候補したんですが、ちょっと内容はよくわからないんですが、水循環は皆さんが歴々やっつけらっしゃるということですから、環境問題をやりたいと思っています。よろしくお願いたします。

(事務局) 続きまして、水循環の〇〇委員ですけれども、本日御欠席との連絡をいただいております。

続きまして、行政委員に参ります。河川環境の〇〇委員。

(行政委員) 東村山市の〇〇と申します。よろしくお願ひします。

(事務局) 水循環で〇〇委員ですけれども、本日御欠席という旨の連絡をいただいております。

続きまして、東大和市に参ります。水循環の〇〇委員です。

(都民委員) なかなか難しいと思うんですけれども、できるだけたくさん水が流れるように考えていき
たいと思います。よろしくお願ひします。

(事務局) 続きまして、河川環境の〇〇委員。

(都民委員) 前回も河川環境で、空堀川の水量ももちろん気になりますけれども、植生とか、水辺の生
き物なんかにも関心がありまして、いつも空堀川ウォッチングというのをプログラムでやって
いるんですが、いろいろと自然が変わっていくのを見ると、ちょっとほっとしたりもします。
よろしくお願ひします。

(事務局) 続きまして、副座長でもあられます〇〇委員です。

(副座長) 〇〇でございます。前期に引き続いて河川環境をやらせていただきます。よろしくお願ひ
いたします。

(事務局) 行政委員に参ります。河川環境で、〇〇委員です。

(行政委員) 東大和市の〇〇と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局) 水循環で〇〇委員ですけれども、本日御欠席との連絡をいただいております。

武蔵村山市に参ります。河川環境の〇〇委員です。

(都民委員) 武蔵村山市の〇〇です。6期から来ているんですけれども、河川環境、環境という言葉は
やたら意味の広い言葉ですよ。川の環境というと水の汚れがどうのこうのと、世間一般では
何かそんなような見方をしているようなんですけれども、我々はもうちょっと幅を広く、川は水の
流れているところだけじゃなくて、河川敷といいますか、その周辺、それから管理道路も含め
て全体が川であると。川の環境も、全体が川の環境であると。だから、管理道路にどんな木を
植えるかなということも当然問題の中に入ることです。そのようなことで、ことし、
いろいろ考えてみたい。この間植えた桜は枯れてしまったし、ああいうことのないようにどう
したらいいのかとか、いろいろ考えてみたいと思います。

(事務局) 続きまして、行政委員に参ります。河川環境の〇〇委員です。本日は代理人ということですよ。

(行政委員) 〇〇が国体の手伝いに行っておりまして、代理で来ました〇〇と申します。よろしくお
願ひします。

それと、この名簿ですけれども、市民生活部から生活環境部に変更されました。

(事務局) 失礼しました。

続きまして、水循環の〇〇委員ですけれども、やはり代理ですよ。

(行政委員) 武蔵村山市の〇〇と申します。きょう、〇〇が同じく国体のほうで来られませんので、私
が代理で来ました。本日はよろしくお願ひいたします。いろいろなお話を聞きたいと思ひます
ので、よろしくお願ひいたします。

(事務局) 東京都に参ります。水循環で〇〇委員です。本日御欠席との連絡をいただいております。

河川環境で〇〇委員です。

(行政委員) 〇〇と申します。よろしくお願ひします。地元の皆様とぜひ空堀川・柳瀬川をいい川に
していきたいと思ひています。一緒に頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

(事務局) 同じく河川環境の〇〇委員です。

(行政委員) 北多摩北部建設事務所の〇〇でございます。よろしくお願ひいたします。

(事務局) 水循環で、座長であります〇〇委員です。

(座長) よろしくお願ひします。

(事務局) 以上ですけれども、〇〇委員につきましては、本日は、人数調整と言つては失礼なんですけれども、河川環境のほうに仮配置ということで入れさせていただいております。よろしくお願ひいたします。

分科会の構成員につきましては以上でございます。

(座長) ありがとうございます。委員の割り振りということでございます。御挨拶もいただいたということでございますので、〇〇委員の保留はございますが、その他の方はこういった分科会分けで御了承いただいたということでよろしゅうございますか。

異議なし

(座長) それでは続きまして、議題の2、活動スケジュールということで、第7期、本格的に意見交換が始まるわけですが、2年間という期間がございますので、大方このぐらいのスケジュールでどうでしょうかというのをつくったので、事務局からお願ひしたいと思ひます。

(事務局)

【配布資料③】活動スケジュール(案) (説明)

このとおりの回数でいくかどうかはまた別としまして、若干の変動はあろうかと思ひますけれども、大体こんなスケジュールでいきたいと思つております。よろしくお願ひいたします。

(座長) 今後の活動スケジュール、特にきょうのような合同の分科会をこのぐらいの回数でどうでしょうかという提案でございますが、いかがでしょうか。

(都民委員) 今いただいたスケジュールの5回、6回を見ていきますと、6回目が12月になっています。前期までは12月はなしで1月という開催だったんですが、何か変えられた意図はございますか。12月は繁忙期なものだからということで、前はそういう取り扱いをされていたと思うんですけども。それで1月にやっていたんです。これは議事録を見ていただければわかるんですけども。

(事務局) 前期というのは6期ですか。その辺は、きょうこの場で、12月でいいのか、1月でいいのかというのは……。

(都民委員) 変えたのは何か理由がおありになるのかなということですか。

(事務局) 特にございませぬ。年始も皆さんお忙しいでしょうからという考えもあつて、12月はやめて1月のほうがいいよということであれば、それはそれでよろしいかと思ひます。

(都民委員) 皆さんが同意されれば、別に私は構いません。

(座長) どうでしょうか。前期は12月ではなくて1月だったということですが、事務局の案もそこら辺は難しい理由はないということですが、いかがでしょうか。全体的に毎月1回程度、ただ、今言ったような忙しい時期、あるいは行政側の異動の時期等はちょっと外しているということでございますが、よろしゅうございますか。

それから、次回、11月、12月の第1週の水曜日を目安に設定させてもらっていますので、こちらでやっていただいて、これは私的な意味合いですが、ある程度固定してもいいのかなど。皆さん、御都合があると思ひますが、原則は第1週の水曜日とか、そのような決めもあつていいのかなどと思ひますので、12月まではそんな意味合いで提案させてもらっています。ただ、いろいろ御都合も出てきたときにはまた御相談するということかと思つております。

よろしゅうございますか。きょうの段階では、こんな予定で開催していくということをお願いしたいと思います。

次回の話をお願いします。

(事務局) 次回、第5回になりますけれども、11月6日の予定でございますけれども、このときには今年度の整備工事の内容につきまして、前回の現場視察の際も説明させていただきましたけれども、それよりはちょっと詳しく御説明していきたいと思っております。

(座長) ちょっと早いですけれども、この後、分科会になってテーマを決めていただくということを踏まえ、先ほどのスケジュールの話と、今回はこんなテーマで、あくまでも事務局側の提案でございますが、今言ったような話も事前にお話ししておいたらどうかという思いでございます。次回、11月6日には、繰り返しになりますが、現場視察していただきました特に整備工事、今年度予定している工事等につきまして、行政側からの情報提供をさせていただくという予定も考えているということで、あらかじめ御理解していただきたいと思います。

それでは、この後、各分科会に分かれていただきまして、まとめ役の選出、それから分科会で意見交換する具体的なテーマを決めていただくことにしたいと思います。それが終わりましたらまた一堂に集まるという形で、その中で、各分科会での意見、あるいはどんなお話があったかということ、全体の合同分科会で情報交換していただくという進め方の予定でございますが、そんな形でよろしゅうございますか。

異議なし

(座長) それでは、時間が大体2時間という予定でやっておりますので、分科会でのいろいろな御議論はこれから1時間程度、3時半ごろまでというスケジュールでお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

(事務局) 分科会に分かれていただきますので、ちょっとお時間をいただいて机の配置がえをいたしますので、ここで休憩をとりたいと思います。

午後2時26分休憩

午後2時33分再開

【今後の活動について意見交換（水環境分科会、河川環境分科会）】

【分科会報告・その他】

(事務局) 次第の(5)になります。各分科会でメインテーマ等を検討していただけたかと思っておりますので、その辺をまとめ役から御報告していただければと思います。

それでは、河川環境のほうからよろしいでしょうか。

(まとめ役) それでは、まとめ役が私になりました。引き続きよろしくをお願いしたいと思います。

私のほうから、河川環境分科会の議論の結果につきまして、御報告を簡単にさせていただきます。

最初に、河川環境分科会でテーマをどういう範囲で取り上げるかということで、範囲についての議論に多少の時間をとりました。結果的には、河川を中心に緑道、旧河川などを含めた範囲での環境ということに限定させていただく。議論の中では、いわゆる流域ですから、柳瀬川・

空堀川流域というかなり範囲が広いわけですがけれども、そういう流域まで広げるべきではないかというような議論もあったんですけども、結果的には、今申し上げたような河川を中心に、ただし、この河川の中には旧河川、あるいは緑道という格好に姿を変えた部分も含めて、当然管理道路も含むわけですがけれども、その範囲を我々の分科会が取り扱う範囲としましょうということに決まりました。

それから、テーマについては、これもいろいろ御意見が出ましたけれども、まず前期からの引き継ぎ事項、6項目あるうち明らかに河川環境分科会として取り組むべきものとして、前期の報告書の一番最後のページの5項目、6項目、具体的に言いますと、植生調査を含む河川内の生物調査、それから、河川余地への植栽を取り上げましょう。これはどちらにプライオリティを置くかというよりは、並行でやりましょうと。それから、新たなテーマといたしまして、これは事務局のほうから出されたテーマであるわけですがけれども、河川の維持管理の新たなルールについて、ぜひテーマとして取り上げていただきたいという話がありまして、取り上げましょうということになりました。

そのほかに今期取り組むべきテーマとして、放射線問題、河川の中のホットスポット化している箇所が何か所かあるということで、これについても取り上げるべきではないかというお話もありました。それから、特別に御成橋ワンドの環境についても取り組むべきではないかという御指摘もありました。放射線問題については、この分科会の中で取り上げる、あるいは流域連絡会の中で取り上げるというよりは、情報としては流域連絡会の中で情報提供は必要だろうと思えますけれども、取り上げるについてはいろいろ無理もあるだろう、難しい側面もあるということで、テーマとしては取り上げないということに決定をいたしました。それから、御成橋ワンドの環境については、今までもそうですけれども、まず水循環分科会の中のテーマとしてありますので、これを取り上げていただいた中で、河川環境分科会もそこに共同で取り組むということで、従前どおり、テーマとしては取り上げないけれども、活動としては全体として共同で活動しましょうと、こんな形で決まったところです。

以上でございますけれども、ほかの委員で補足がありましたらお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。以上です。

(事務局) では、続きまして、水循環分科会、お願いします。

(仮まとめ役) まず、まとめ役でございますけれども、〇〇委員にやってもらおうと。ただ、きょういないものですから、満場一致で決まったということで、私が責任を持って説得をするということになっています。ですから、きょう一日限り私がまとめ役をやらせていただきました。

出た話題としましては、環境部会とかなり共通するところもあるんですが、まず、ワンドの管理の継続に関しましては、前年度いろいろ決めましたけれども、それを今年度しっかりと管理基準をつくらうということなので、まずそれをしっかりとつくることが1つ。それから、東大和のこの前見に行きました現場がありました。あの工事で水がどうなるか、あるいはあそこに出たいろんな残土に関しまして、どういった利用価値があるか、あの辺はよく着目しながら、水をなくさない、なおかつ水を保つというようなことに関して考えていこうということが出ました。

それから、今度は水の確保ということで、永遠のテーマでございますけれども、永遠のテーマでありながら永遠に解決していかない大変難しい問題があります。これに関していろんな水源の話が出ましたけれども、例のJRの話。JRが今現在、御成橋のところで出ているのは小

平の水なんです、柳瀬川のほうに行っている水があると。これは新秋津のほうの出水らしいんですが、そういった水をどうかできないかというようなこととか、あるいは森永の下水に関しまして、3分の1はどこかほかへ流れている。その3分の1をもっとこっちに来ないかというようなこととか、あるいはかたくりの湯、この前見に行きました。あその水は浄化されているんだけど、武蔵村山の下水として流されているようだ。あれもこっちに確保できないかというようなこと。それと、雨水に関しまして、雨水をストックしておいてそれを定常的に流していくという方法はないかということ。

それから、上水、水道局です。今、水道局が利根川から荒川、荒川から朝霞浄水場、朝霞浄水場から東村山浄水場に原水管の増設工事をやっているんです。1本が今度2本になるということなので、当然それは必要だからやっているんでしょうけれども、それに関しまして少し分けていただけるような可能性があるのかなのか、なかなか難しい問題でしょうけれども、そういったこともいろいろと関心を持っていこうということ。

それから、下水のほうで、今現在、玉川上水の処理場の水が野火止用水とか多摩川にいろいろ分派して流れている。それに対して現状どうなっているかということに関してもよく認識をして、少しでもこっちへ持ってこられないかと。

今のは建設局、水道局、下水道局ということで局間にわたりますので、対応に関しては大変難しいというようなお話がございましたので、では、建設局の中だけでどうですかと。これも1つの例えになっていますが、例えば落合川とか黒目川とか、ここからせいぜい二、三キロぐらいのところで大変潤沢な水が流れているわけですね。あの水を持ってくるような調整はできませんかというようなお話もおっしゃられていました。

結果的には、現状認識をするということで、いろんな水源を見ると同時に、どこが今現在ある水がなくなっているんだ、下に消えてしまっているんだというところをしっかりと見て、それに対しても現状認識をして対策を打っていこうと。そのためには、東大和でやっている工事の残土をこちらへ持ってきて何とか張れないかとか、そのようないろいろな話題が出たんですけども、結局今の3点で、水の確保に関しては、しっかりと現状認識を持って、課長のほうも現状の水の分布がどうなっているかということで、資料を御提供いただけるということで、我々はこの確認をしよう、どこを見に行こうということで、あちこち現状認識の調査をしようという形です。

それから、さっき言ったように、ワンドの継続管理に関する管理の内容に関してしっかりと決めていこうと。

それから、東大和の工事に関して、東大和の工事の残土の粘土張りに関しては、かなり今いろいろなお話をしましたけれども、可能性のある内容じゃないかということで、これに関しては強い関心を持っていこうという話が出ております。

何か質問がございましたら、よろしゅうございますか。以上です。

次回から〇〇委員がやりますので、ひとつよろしく願います。

(事務局) きょうは長時間どうもありがとうございました。最後になりますけれども、4、その他ということで、きょうお配りしました資料の中で、第20回クリーンアップ、川の日ワークショップ、この2つのチラシにつきまして、〇〇委員から願います。

(副座長) 大変恐縮でございますけれども、きょうの資料に入れさせていただきました。1つは、毎回御案内させていただいておりますけれども、クリーンアップということで11月16日に実施をい

たします。東大和のほうは第20回となります。これは同日に、東村山市域でもNPO法人空堀川に清流を取り戻す会が実施するというので決定しております。私どものほうが早く決定し、用意ができましたものですからチラシを配らせていただきました。御理解をお願いしたいと思います。

それから、新しい委員もいらっしゃると思いますのでつけ加えますと、このチラシの右上のほうに柳瀬川・空堀川流域連絡会クリーンキャンペーン参加と書いてございますが、これは毎回、この流域連絡会のお墨つきを得てやっているクリーンアップだという御理解をお願いしたい。今は、東大和、東村山はできるだけ同日開催をやっていますけれども、上流市、下流市とタイミングが合えば同時にやってもいいのかなと思っています。そういうことも狙いの中を含めたクリーンキャンペーンという意味合いでございますので、よろしくをお願いしたいと思いません。

それからもう1つ、きょう突然お配りしたのは、昨日、10月6日に行われました第9回川の日ワークショップ関東大会というのがありまして、これに何とか時間がつくれて行ってまいりましたので、わずかな資料ですけれども、資料の表のところと主な発表団体の一覧表を裏面につけ加えさせていただきました。

これは、主催が「川の日」ワークショップ関東大会実行委員会です。後援が国土交通省関東地方整備局となっております。下にありますように、さまざまな人がかかわっております。当日は国土交通省からも3人の行政の委員の方が出席し、コメンテーターとして役割を担っておられました。

裏面のエントリー一覧のそれぞれのテーマのところ、ごくごく簡単に解説をさせていただきます。A-1は、善福寺川を里川にカエル会ということで、略称は善福蛙、片仮名でカエル会としているのは、要するに、変化のカエル会です。三面張りの善福寺川を里川のような形に、いい方向に、いい川にしようと、そういう意味のカエル会。そのカエルを生き物のカエルに当てて、善福蛙と略称しているという話であります。

A-2、NPOとどろき水辺は、川仲間をふやそうという多摩川での活動です。

A-3は、戸田市がやっている行政の活動です。委託先が株式会社〇〇ですが、市内の小中学校の生徒さんに、生き物シールを全部宛てがって、発見したら白地図にそれを張るということで、どういう生き物がいつどこにいたというような大きなマップをつくるということで、これは戸田市の担当の課長さんが出てきて説明をしておりました。

A-4は野川流域連絡会です。世田谷区の職員が発表されておりました。世田谷ダムから野川ダムへと、これは雨水貯留です。10年の計画で目標を持って雨水貯留を48万立米ためようと。ですから、一気に川に流れ込むのを流域でとどめようという壮大な計画で、現在58%ぐらいのところまで来ているということで、これはすばらしい活動だなと思われましたので、特にこのところを挙げるためにきょうこの資料を出させていただきました。ですから、今、水循環分科会の中でもいろいろ取り組み、水量問題は大変だと思いますけれども、行政が旗を振ってやっている、しかも流域連絡会の中でやっているんです。こういう事例があるということで報告させていただきました。

それから、Bグループは、2番目の河川環境調査研究のところ、水質調査と水生生物の調査をやっております。

それから、C-2は、トンボはどこまで飛ぶかフォーラムというので、トンボに着目をして、

徹底的にトンボを捕獲するんです。そして、その羽に数字でコードを、ナンバーを振るんです。そして、そのナンバーのトンボがどこか別のところへ飛んでいって捕獲される。それで飛ぶ範囲をマップに落とし込んでいく。そのことによって、自然環境、水辺と生き物の関係をトンボを通して捉えようという試みのようです。

C-3は外堀市民塾、これは千代田区、新宿区、港区の3区にまたがるんでしょうか、皇居の外堀をいい水辺にしようという取り組みです。Cのグループというのは川のネットワークや地域づくりというところなんですけれども、外堀をいい水辺にするということで、いい地域にしようという、外堀にかかわる周りをよくしようということです。

C-4は東京農業大学。場所が、今回は東京農大でやったということもあって、仙川を取り上げていました。

主なところは以上ですけれども、きょうは間に合いませんので、次回にこういう格好でまとめたものがありますので、整理してうまくまとまったらまた追加資料にさせていただきたいと思います。以上でございます。

(事務局) 今の件について何かございますか。よろしいですか。

【閉会】

(事務局) では、本日の議題は全てこれで終了となりますけれども、次回は、先ほども申しましたように11月6日、合同分科会ということで開催したいと思います。近日中に開催通知等を発送させていただきますので、よろしく願いいたします。

本日は定刻になりましたので、長時間にわたり御議論ありがとうございました。これをもちまして、第4回柳瀬川・空堀川流域連絡会を閉会といたします。どうもありがとうございました。